

# スローテンポ通信

第 64 号

2023年2月18日

発行:スローテンポ書店

〒323-0023 小山市中央町3-7-1 ロブレ地階

☎ 0285-32-7211

Eメール usagimokamemo@gmail.com

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

## ◎いま注目の本

### ○『ウィメン・ウォリアーズ

はじめて読む女戦記』

パメラ・トラー著 西川知佐訳

花東書房 2022年 2500円+税

☆☆☆☆☆

戦争に女が登場することは都合が悪かった。だから、戦いの歴史から女は消されてきた。フェミニスト女性歴史家が、古代から現代までの正統派の歴史を鋭く批判し、自由奔放に語る。そこには古今東西の女戦士が登場する。英雄もいれば悪党もいる。読めば、現代の正統派フェミニズムの主張に対する見る目が変わる。

### ◎ 参加するだけで、本を読みたくなる

#### 本を読まない人の読書会

毎月第4土曜日午後3時~5時

本を紹介後、自由に話し合います。参加無料、予習不要、出入り自由、発言するしないも自由、とんでも発言歓迎!

2月25日(土)は

『仲直りの理(ことわり)ー進化心理学から見た機能とメカニズム』

大坪庸介著 ちとせプレス2021年

ケンカは、互いに割が合わないとかわかっていないのに、一旦始まると収まらない。戦争も同じだ。仲直りのうまい方法があれば戦争はすぐに終わる。

それを考えてきた研究者が、これまでの成果をまとめ紹介する。個人間のトラブルに限らず、政治や外交、ビジネスでも応用されているらしい。

仲直りの方法がわかっているのに、争いや戦争がなくなるのはなぜだろう。一緒に考えてみよう。

## 話が通じない人の対処法-その2

話をしたくても聞いてくれない。これに困っている人は多い。

若者たちは、「頑固オヤジは人の話を聞かない」といって嘆く。オヤジたちは、「近頃の若者は人の話を聞かない」といってぼやく。

困ったことに、人の話を聞かない人には自覚がない。そんな困った人たちに、話をしなければいけないときにどうするか。

話を聞かない人には、“話を聞けない人”と、“話を聞こうとしない人”とがいる。

“話を聞けない人”とは、話を聞くことができない人のことである。例えば、日本語がわからない外国人に日本語でしゃべっても話は通じない。

仕事に熱中している人に、関係のない話をしても「仕事の邪魔だ」と言われるだけだ。話を聞ける状態にないときに話しかけても、聞いてもらえないということである。

でも、方法はある。仕事に熱中している人も、「宝くじで100万円当たった。今晚はパーッと焼肉パーティーだ。おまえ来る?」と言えば、「行く行く」と言ってくる。

「財布落っことしたよ」という日本語がわからない人にも、落ちた財布を指差して言えば、「サンキューサンキュー」と言ってくる。

もう一方の、“話を聞こうとしない人”とは、自分で相手とのコミュニケーションを遮断している人のことだ。「宗教の話はめんどろなことになる」「年寄りには自慢話しかしない」など、様々な理由がある。

前回話題にした、新幹線駅係員などの“立場に依存するタイプ”は、「聞き分けの悪い客は、クレイマーなのだから相手にするな」と教えられているのかもしれない。

こういう人たちに対しては、正当な要求を言い続けていけばよい。「無視を続けたら問題にされるかもしれない」と思って、話を聞いて来る。

自分でコミュニケーションを遮断するのは、「わざわざしいだけだ」と決め込んでいるからであろう。

“話を聞けない人”も“話を聞こうとしない人”も、話を聞く姿勢ができていないといってよい。

言葉がわからなくても、話を聞く姿勢さえあれば、工夫次第で何とか伝わるのである。

対話とは、人と人とのコミュニケーションのひとつであり、それは、伝える側も聞く側も、その気にならないといけない。どちらか一方でもその気がなければ成立しない。

話を聞いてほしいなら、工夫と努力で聞く側をその気にさせる。それが、話が通じない人の対処法である。

では、幼稚園児に対して大人の話をしたいときは、どうするか。幼稚園児に大人の話をしてもらってもチンプンカンプンだ。

これも同じだ。何としても伝えたいことがあるなら、相手に伝わるように工夫するのである。

大人の言葉で伝えようとするから伝わらない。幼稚園児にわかる言葉を使えばよい。100%伝えようとするから伝わらない。考え方を伝えればよいのだ。

じゃあ、プーチンやゼレンスキーに「即刻停戦がいいにきまっている!」と言いたいときはどうするか。二人とも相手を打ち負かそうと必死である。そんなときに他人の話を聞くはずがない。

大人のケンカも、幼稚園児のケンカも構図は同じだ。双方とも力づくで決着をつけようとするが、争えば争うほど双方とも損害が大きくなる。仲直りがいいに決まっている。

幼稚園児なら、おだてる、ほめる、餌で釣る。無視するときは声を大きくする。逃げようとするときは脅す。

大人の争いなら、合理的な解決策や期待できる将来構想を、双方に示せば話ののってくるかもしれない。相手に合わせた工夫と努力が必要である。

平和先進国を目指す日本は、戦争仲裁国として最も適任だ。幼稚園児を説得するつもりで挑めば可能だと思う。N



本好きも本嫌いも

本のよさを再発見する!

## スローテンポ書店

小山駅西口 **ロブレ**地階

オープン: 火、木、土 13時~19時

日本を見つめ、世界を見つめ、自分を見つめる。  
本があなたを待っています。

### ☆すろーてんぽ懇話会

ディベート型ではなく **課題解決型** で話し合います。困りごとを出してください。いっしょに考えます。どなたも歓迎!  
第2土曜日 午後3時~5時、参加無料。

### ☆すろーてんぽ文章教室

文章を書き、人に読んでもらうことによって、自分の考えが整理され、点検され、自分自身を冷静に見つめられるようになります。新たな飛躍や自己発見にもつながります。書いた文章を提出してください。  
第2木曜日午後3時~5時、参加費500円。